

# 学校推薦型選抜 2026

## PRODUCT DESIGN

生産デザイン学科



Tama Art University

## 学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多元的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用力、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

## 選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、学校推薦型選抜をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択Aの科目「アイデア/プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでアイデア発想力を採点基準とします。選択Bの科目「スケッチ/デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、合否判定に用いるのは、選択A、Bともに出願時に提出する自己アピール文を含む「書類」と「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

## 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く楽しく明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になる事は放置せずに考察する習慣を見につけ、問題解決のアイデアが考えられるといいですね。

## 学校推薦型選抜（学校長推薦が必要となります）

|        |                                                          |
|--------|----------------------------------------------------------|
| 募集人員   | : 20 名（選考結果によって募集人員に満たない場合があります）                         |
| 出願期間   | : 2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 7 日（金）[WEB 出願のみ]               |
| 出願書類郵送 | : 2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 7 日（金）消印有効<br>※海外からの出願の場合 [必着] |
| 出願資格   | : 次の「1」「2」すべてに該当する者。                                     |

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。
  - ① 日本における高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を2025年3月に卒業した者または2026年3月に卒業見込の者。
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
  - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を2025年3月に修了した者または2026年3月に修了見込の者。

※学校推薦型選抜と帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できます。

## 選抜科目・日程

※ 選択AもしくはBのいずれかを出願時に選択してください。

### 選択 A

11月22日（土） アイデア / プロセス [3 時間]  
※ 文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現  
11月23日（日） プレゼンテーション面接  
※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

### 選択 B

11月22日（土） スケッチ / デッサン [3 時間]  
※ デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現  
11月23日（日） プレゼンテーション面接  
※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

## 学校推薦型選抜 試験問題 選択A

### アイデア/プロセス

問題：

家庭内(屋外・屋内)使用を前提に、シーンや使われ方、収納する/される(入れる/入れられる)物、その効果や美的要素等を想定し、「上手で楽しい収納」のアイデアとその際に使用するプロダクトを指定用紙に記しなさい。

条件：

1. 指定のA3用紙1枚(左上枠内：タイトル/左中段枠内：文字によるアイデア説明/左下から右半分：図式、チャート、イラスト、漫画<コマ漫画>等、自由に記述)に考えをまとめる。
2. 指定の提出するA3用紙1枚にて、アイデアの展開やプロダクトについて、翌日プレゼンテーションを行う。
3. アイデアメモ用紙(A4-3枚)も提出しなさい。
4. 記述の筆記具、画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

## 学校推薦型選抜 試験問題 選択B

### スケッチ/デッサン 〈支給モチーフあり〉

問題：

与えられたモチーフを自由に構成し、スケッチまたはデッサンしなさい。

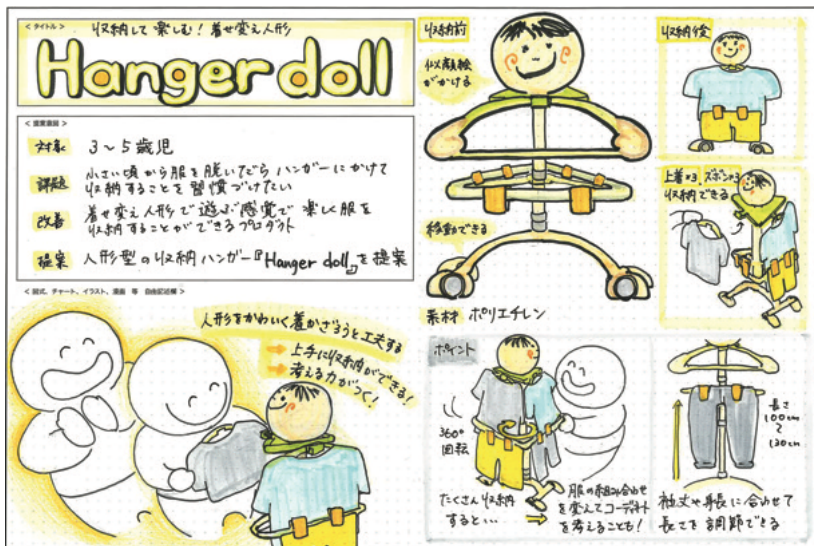
条件：

1. 指定用紙(クレセントボード：B3)は縦横自由とする。
2. 翌日、提出の指定用紙1枚にて、描写内容についてプレゼンテーションを行う。
3. 描写の画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

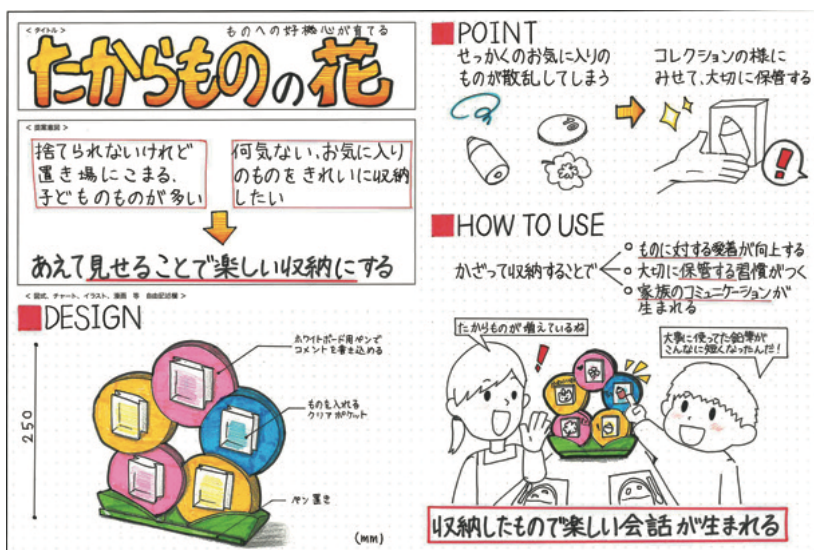
配布モチーフ：テーブルランプ — 1台  
紙ナブキン — 1セット(50枚)



【選択A】

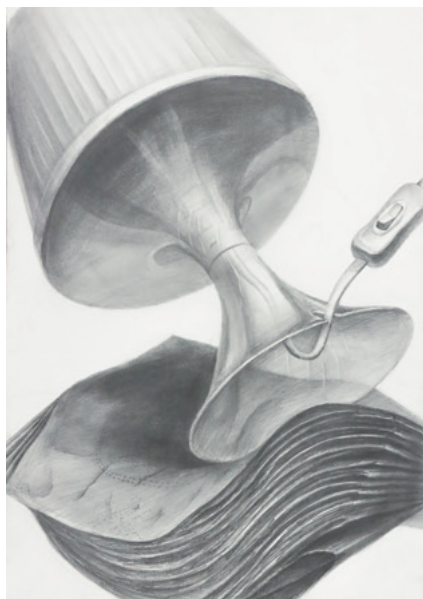


「上手に楽しい収納」という難しい設問にこれ以上の答えがあるのか?と出題側納得の着眼が秀逸です。対象年齢の子供の親が求めるであろうニーズ、シーンやストーリーにリアリティを感じます。すぐにも商品になりそうな生活に即したアイデアと構造にデザイン能力の高さを感じます。



「収納」を展示やコレクションといった、意味深い行為に置き換える事から上手（巧み）さや楽しさに繋げている事が評価された作品です。収納されたモノから生まれる会話やその微笑ましいシーン設定など、モノのデザインに止まらない今後のサービス展開の可能性が伺えます。

【選択B】



左上：モチーフのテーブルランプに複数ある樹脂の質感（素材・仕上げ、透明度）の違いと、画面内に収まりきらない躍動感や奥行き感、空気感を高い表現スキルにより描写されている点が評価された作品です。2つのモチーフの形状ディテールにも細心の注意が配られている。

右上：テーブルランプの周辺に意味有り気配された赤い紙ナプキン。このモチーフを出題した側が意図した“ストーリーを創り出して欲しい”という願いが通じた作品です。ランプ脚部の透明感と光の届く範囲が赤の紙ナプキンの陰影や映り込みで巧みに描写されています。

左下：テーブルランプの上に 50 枚の紙ナプキン束が乗せられ、バランスを崩して今にも倒れそうな一瞬を切り取った作品で、その動きのある構図が評価された作品です。加えて、受験生ではなかなか使用しないデザインマーカーを使用してのリフレクション描写や立体感表現が巧みです。

## 入学前プログラムの実施



学校推薦型選抜合格者には、入学前プログラムとして鉛筆デッサンおよび色彩構成の制作を課しています。また 3 月には学校推薦型選抜合格者及び教授陣が参加する合同講評会を開催し、合格者それぞれに対しコメントやアドバイスを送り、入学に備えます。

## ■ 学生募集要項

7月中旬以降に本学ホームページで学生募集要項を公開する予定です。

出願手続きや出願書類、試験日の集合時間、持参用具などは必ず学校推薦型選抜の「学生募集要項」で確認してください。

## ■ お問い合わせ先

多摩美術大学 教務部入試課

<https://www.tamabi.ac.jp/contact/nyushi/>

## ■ キャンパス所在地

多摩美術大学 八王子キャンパス

〒192-0394

東京都八王子市鎌水 2-1723

JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約 8 分。  
または、JR 八王子駅南口から京王バスで約 20 分。



多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻オリジナルサイト  
<http://www.tamabi.ac.jp/product/>

